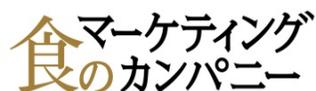


# 流通BMS 標準導入のメリット

2024年11月26日 The logo for Food Marketing Company, with the word "食" in large gold characters and "マーケティングカンパニー" in smaller black characters to its right.

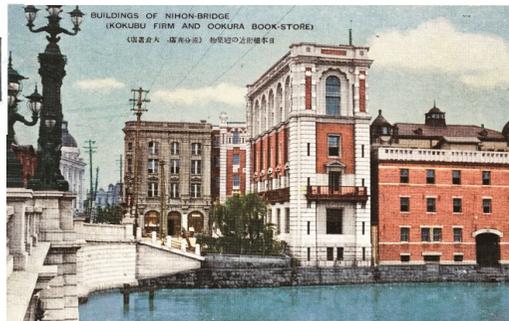
---

国分グループ本社株式会社  
情報システム部  
平田 幸則

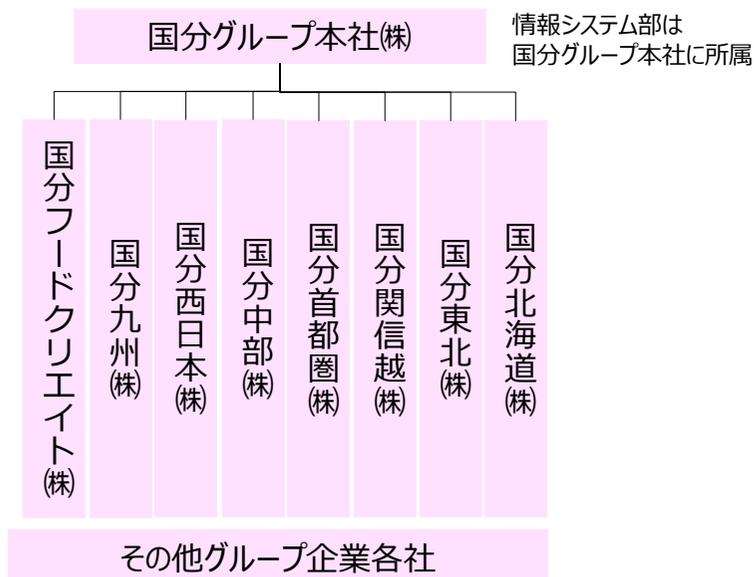
## ■ 自己紹介

- 氏 名      平田 幸則
  
- 所 属      国分グループ本社株式会社  
                 情報システム部 物流システム二課
  
- 勤務地      東京都江東区新砂1-6-35JMFビル東陽町02-5階
  
- 業界活動
  - ・情報志向型卸売業研究会（卸研）（…2017年まで所属）
  - ・一般社団法人 日本加工食品卸協会(日食協) EDI-WG 座長
  - ・2005年 次世代EDI標準化事業 次世代EDIWG  
（流通BMS協議会（流通システム標準普及推進協議会）前身）  
流通BMS創始者メンバーの一人

# 1. 国分グループの会社紹介



- 【 創 業 】 1712年（正徳2年）
- 【 資 本 金 】 35億円
- 【 本 社 】 東京都中央区日本橋1-1-1
- 【 事 業 内 容 】 酒類・食品・関連消費財にわたる卸売業及びそれらに関する資材の販売業、貿易業、パン粉の製造業、貸室業
- 【 従 業 員 数 】 5,051名（連結：2023年12月末時点）
- 【 売 上 高 】 2兆0,684 億円（2023年12月期）
- 【 経 常 利 益 】 242 億円（2023年12月期）

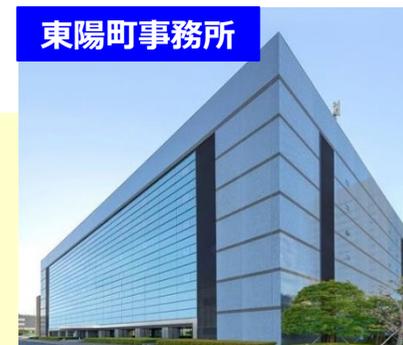


# 1. 国分グループの会社紹介



## 情報システム部

- ◆主な役割
  - ・ 基幹システムアプリケーション開発・保守
  - ・ インフラ基盤構築・保守
- ◆社員
  - ・ 81名 (内5名がデジタル推進部兼務)



アプリケーション			基盤	その他
KLS	KMS	KIS		
29	18	9	14	11

- ◆その他
  - ・ 女性社員 = 20名 (24.7%)
  - ・ 中途入社 = 31名 (38.2%)
  - ・ 大阪勤務 = 2名 ( 2.5%)
  - ・ 協力会社 = 10社179名 (常駐者のみ)

## サプライチェーン統括部 デジタル推進部 (日本橋)

- ◆主な役割
  - ・ DX推進 (AI他)
  - ・ システム共同利用推進
- ◆社員
  - ・ 16名 (内5名が情報システム部兼務)  
(内6名が情報システム部以外の部署兼務)

# 1. 国分グループの会社紹介

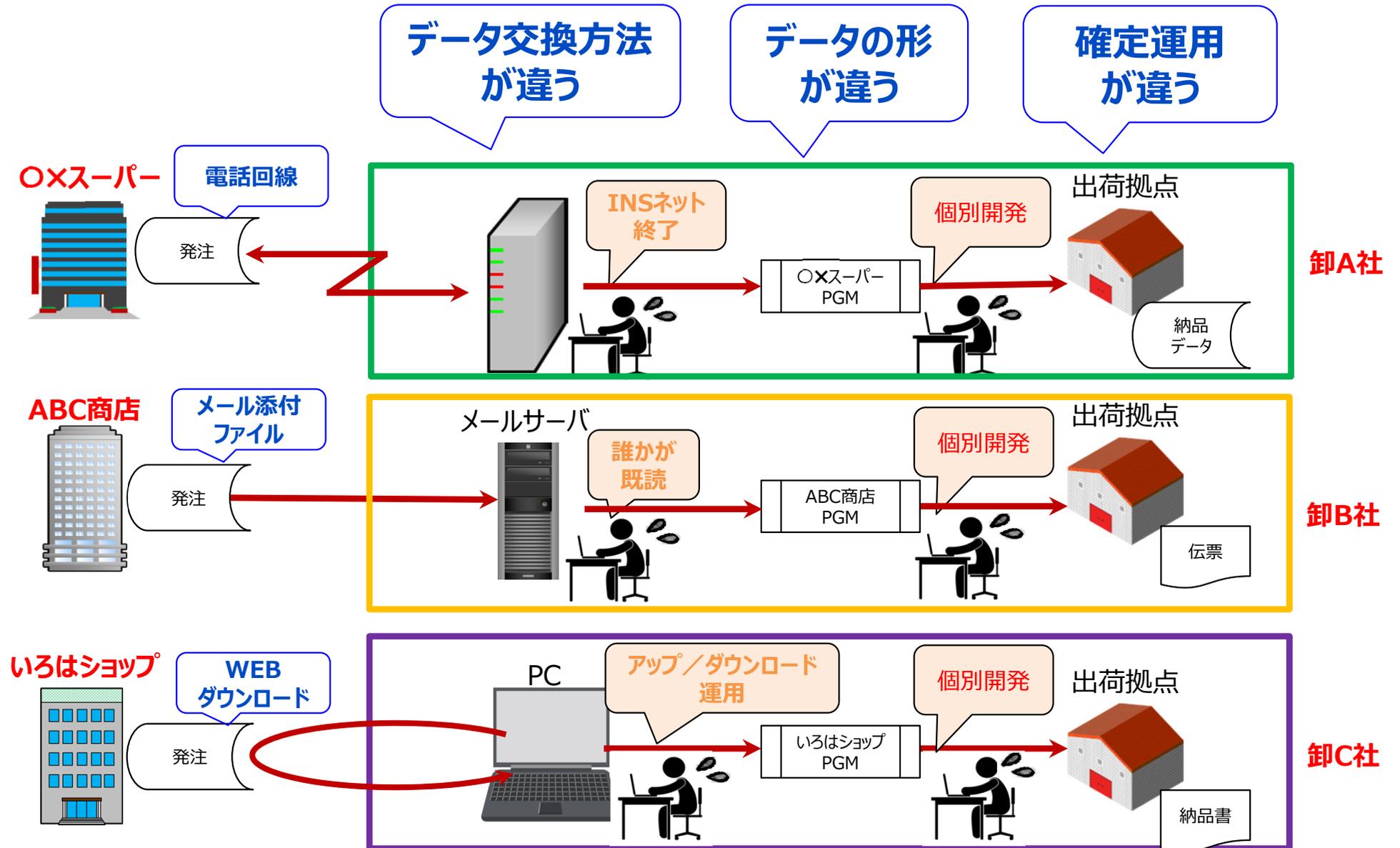


## 2. 【流通BMS】とは・・・

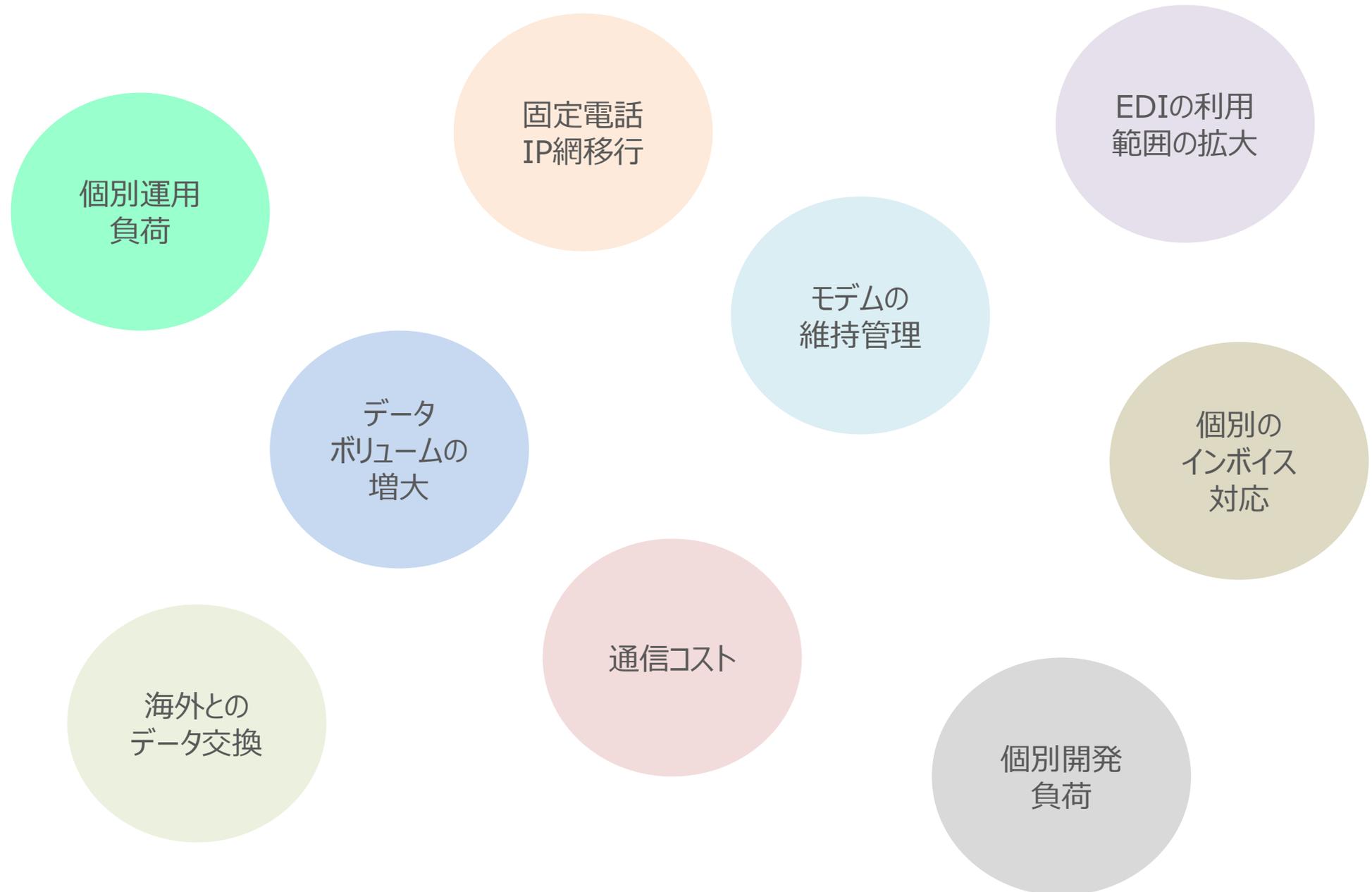
みんなつながる  
流通BMSとは standards

流通ビジネスメッセージ標準

## 2. 個別EDIが歓迎できない理由



## 2. 個別EDIが歓迎できない理由



## 2. 個別EDIが歓迎できない理由

### ● 電話回線を利用したデータ交換

- ・ 2024年1月IP網移行(INSネットデジタル通信モード終了)・・・補完策もいずれ利用できなくなる。(2028年12月31日まで)
- ・ 専用モデム機器の寿命。故障時の代替機器の入手や維持が困難。
- ・ そもそも通信が遅い。通信料金も見合わない。(インターネットにしない理由がない)

### ● インターネット回線の多岐にわたるデータ交換方式 (Web-EDI、メールEDI、FTP)

- ・ ブラウザを利用したWeb-EDIのダウンロード/アップロード運用は、「人の手」が入る。
- ・ 各社ごとに異なるデザインや画面遷移のWeb-EDI画面の運用は、作業が煩雑化する。
- ・ ダウンロード後の基幹システムへのデータ自動連係が難しい。(アップロードはもっと難しい)
- ・ 「自動送受信アプリ」を合わせて提供されても、小売各社ごとにPC・サーバー環境の用意が必要になる。
- ・ 「メールEDI」は、いつメールが届くかわからない。誰かが既読する必要がある。(0件判断も困難)
- ・ 「FTPでのデータ交換」は、送達確認が取りづらい。(通信途中で断絶しても検知が難しい)
- ・ 全般的にウイルスの脅威に脅かされやすい。

### ● 各社ごとに違うデータ項目、フォーマット、データ形式

- ・ 固定長決め打ちの時代ではない。→項目可変性(必須・任意)や拡張性のないフォーマット。
- ・ 画像や漢字を送信できないデータ形式。
- ・ 好き勝手なコード。定番・特売区分は「00」? 「01」?
- ・ CSVって実は扱いづらい。(基幹システム連携)
- ・ EBCDICって何?

**「個別EDI」って結局のところ「人・物・金」がかかる  
流通業界の【EDI仕様の標準化】が解決できる唯一の道!**

### 3. 次世代EDI標準化事業(次世代EDI WG)

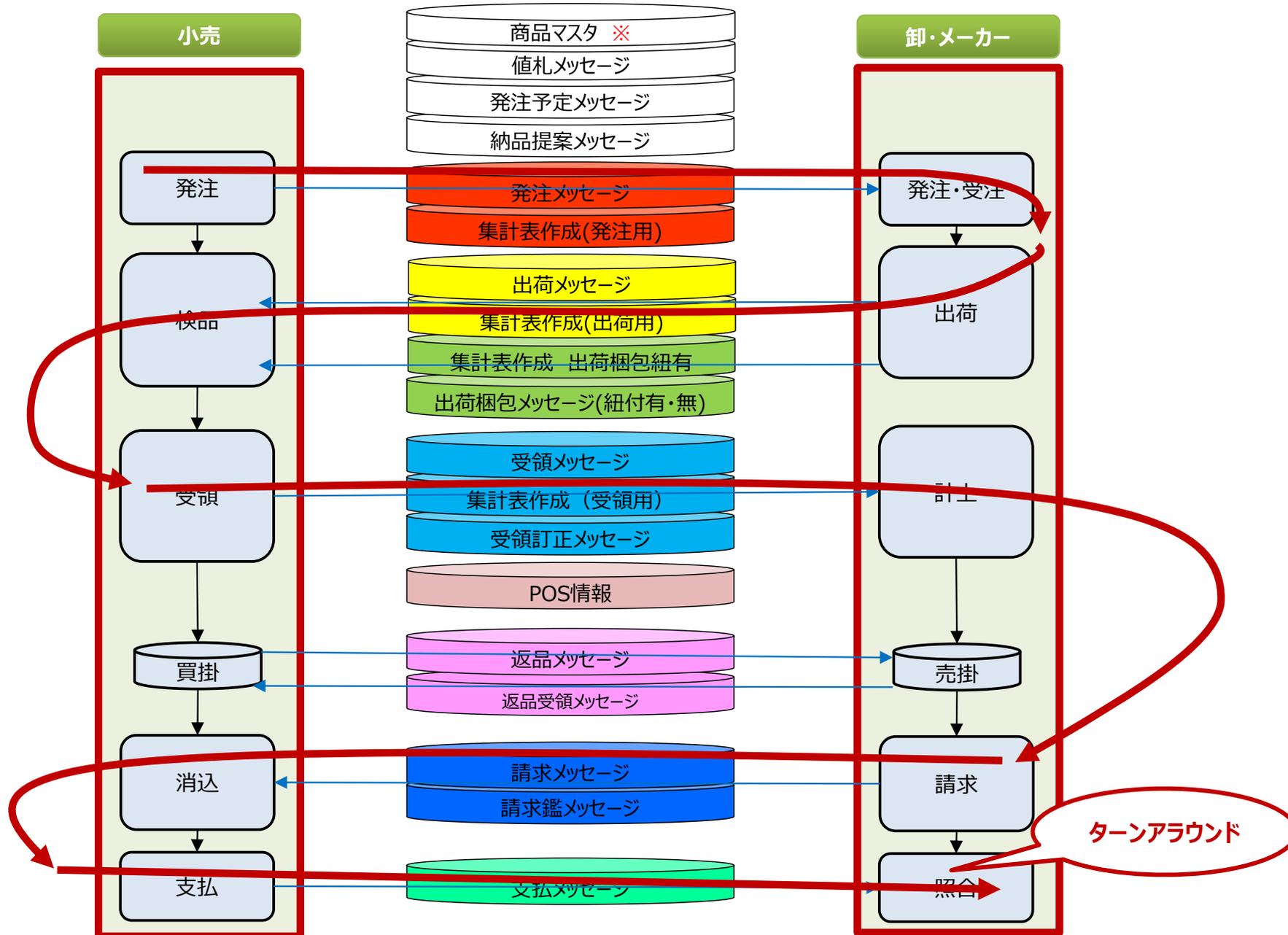


2005年 日本チェーンストア協会／日本スーパーマーケット協会 EDI標準策定開始



**流通業界の「EDI標準仕様」**  
**【流通BMS】 2007年運用開始**

# 4. 現在の流通BMS





## 5. あらためて「流通BMS」とは

**【流通BMS】は、従来のEDIの煩雑さを解消するために生まれた。**

- インターネット回線での通信方式（通信プロトコル）の統一化
- 交換されるデータ種（メッセージ種）や項目の仕様、コードの定義など統一化
- 業務プロセスに関する運用の統一化

### だけじゃない！

- ・仕様の統一化（厳格化）により、小売ごとの個別仕様が少なくなるため、卸・メーカーにおけるシステム開発・改修にかかる工数（コスト）が削減できることが期待される。
- ・流通BMS導入の際、通信関連事項や、どのメッセージを利用するのかなどの前提事項をまとめた「協定シート」や、現行のEDIフォーマットを、流通BMSメッセージのどの項目へ紐づいているのか比較をまとめる「マッピングシート」の提供など、従来のEDIから流通BMS導入への移行を軽減する資料も標準化。
- ・これらにより、新規導入のEDI追加の際も「流通BMS」という標準仕様で行う場合、従来のEDI仕様での導入より、少ない仕様確認、開発・改修で済み、導入まで短期間で対応できる。

## 6. 【流通BMS】の導入によって多くのメリットが生まれる

### ● 通信の円滑化とコスト削減

インターネット回線を利用することで、JCA手順よりも安価で、圧倒的に高速・大量のデータ交換が可能になる。そのため、発注から納品に要する時間や通信コストの削減が期待できる。漢字などの全角文字の送受信も可能になり、データの利用範囲を拡大できる。

### ● 交換データ種（メッセージ）と項目の統一

項目の利用定義を厳格化し定義することで、個別利用項目を排除。これにより、小売ごとの個別対応が少なくなり卸・メーカーの開発・改修にかかる期間が短くなる。また、仕様が標準化されることで、どの小売とのEDIシステム運用も統一化され、運用コスト削減も期待できる。

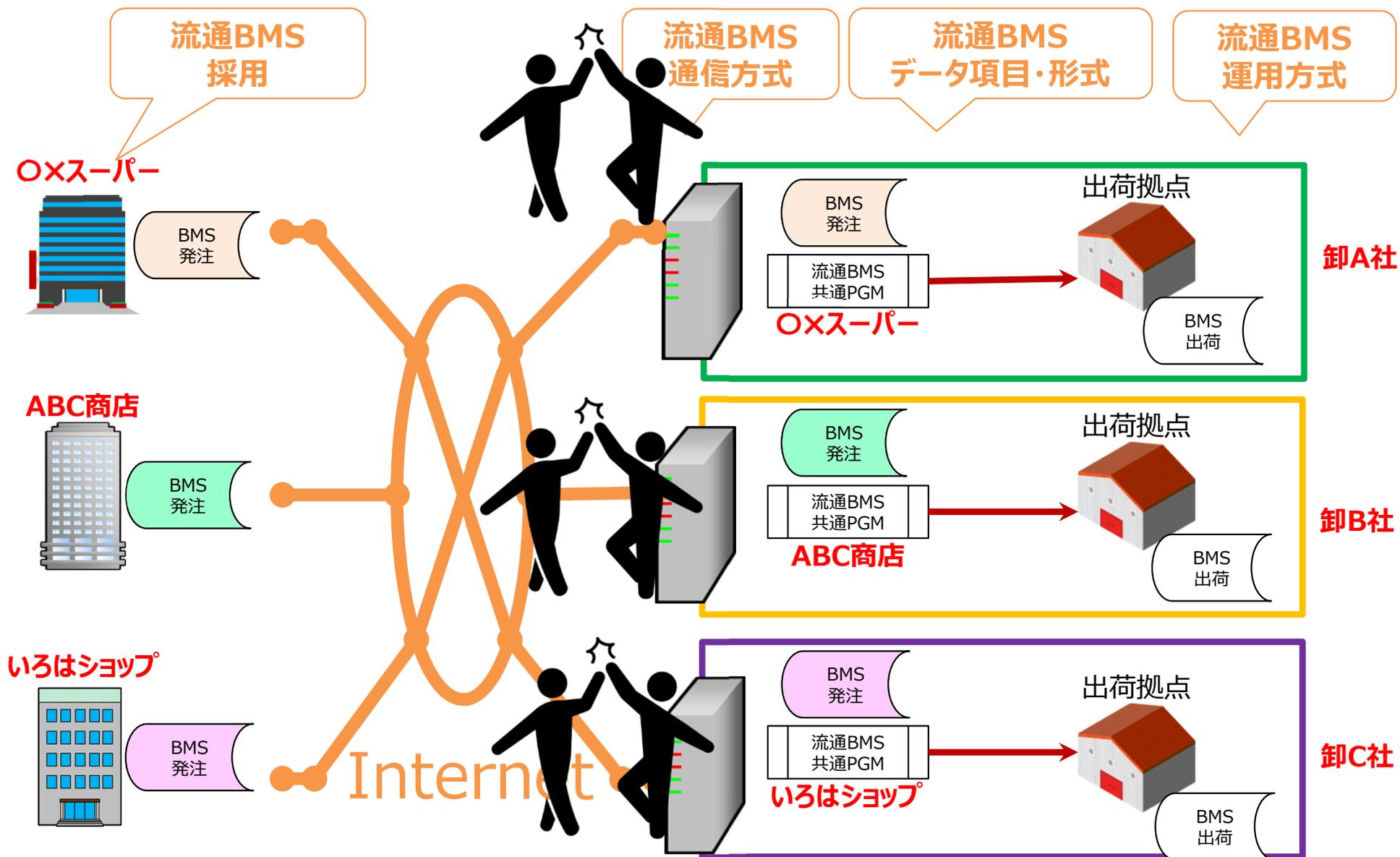
### ● 伝票管理の手間削減

流通BMSでは、受領メッセージを税法上の取引記録として扱えるよう考慮されています。そのため、納品伝票などの帳票を証票として発行・保管をしない運用管理も可能になる。

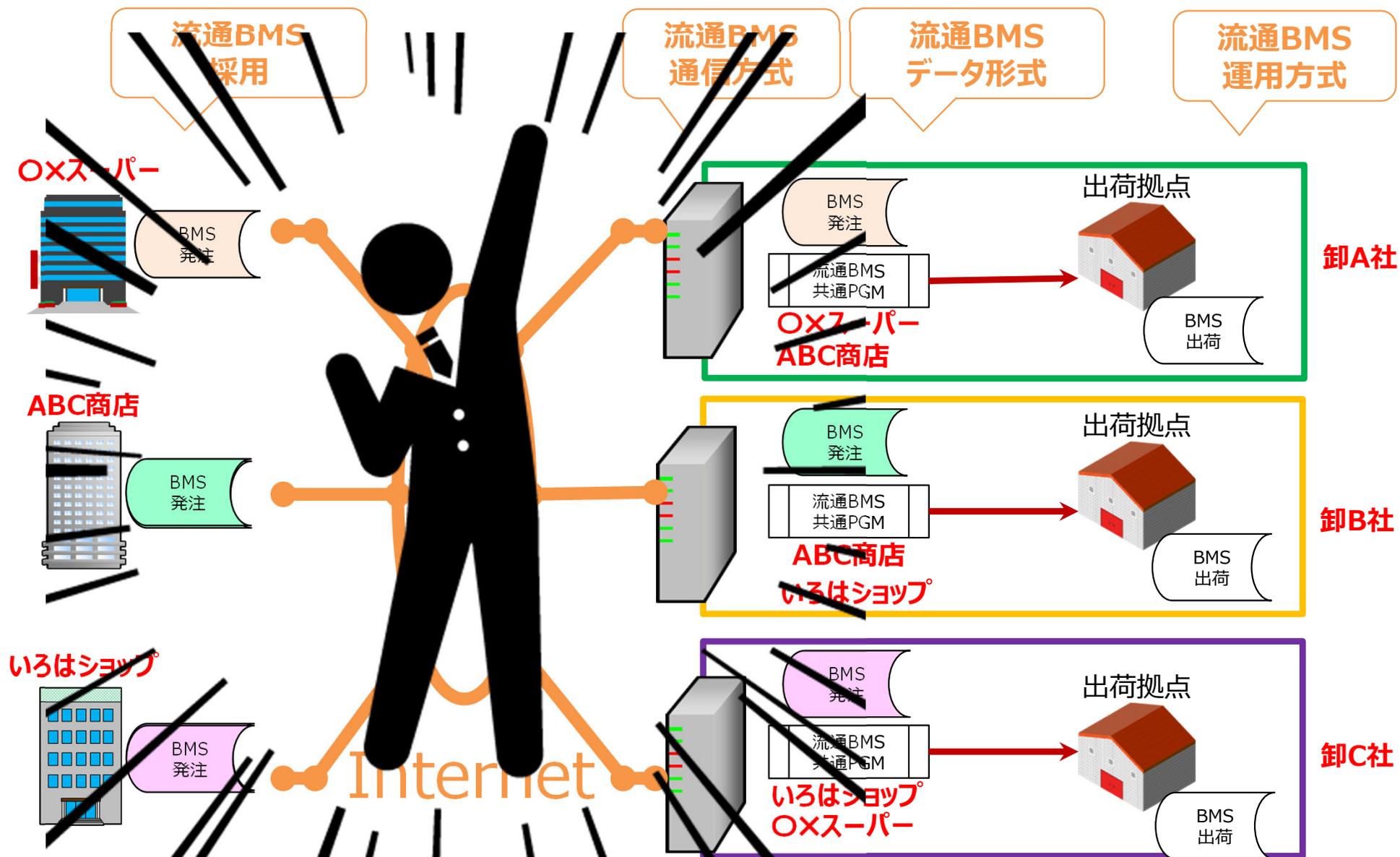
### ● 請求、支払照合の精度向上・効率化

小売・卸双方での債権債務業務が標準化されることで、システム対応と精度の向上が期待されます。**外的要因（インボイス制度への対応など）にも、標準的な対応方法などを享受されやすい環境に置かれることもメリットの一つ。**

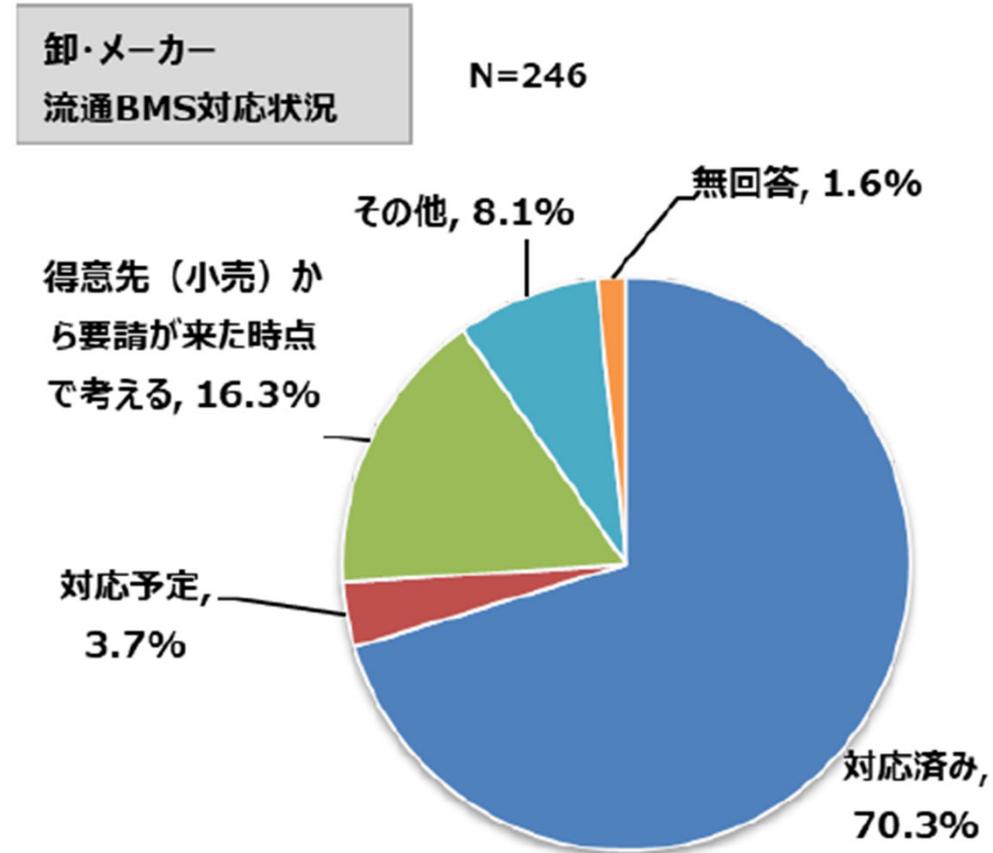
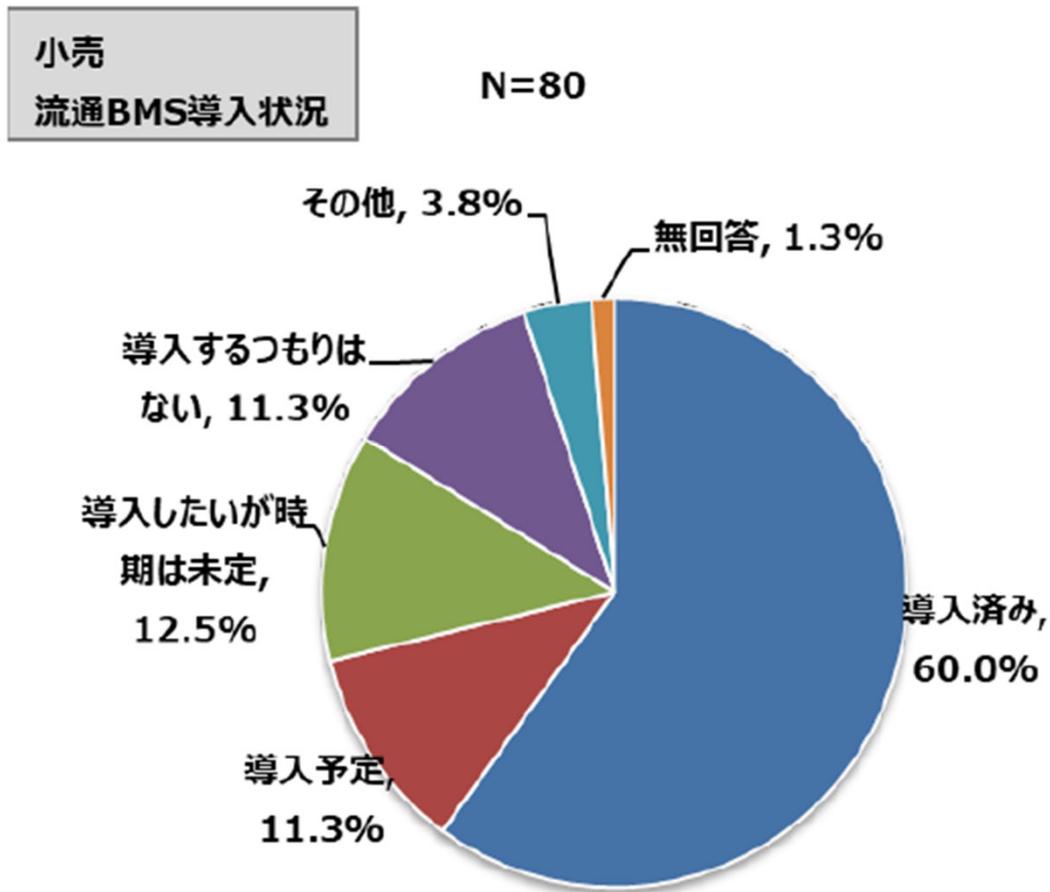
# 7. 【流通BMS】小売—卸間EDI



# 7. 【流通BMS】小売一卸間EDI



# 8. 【流通BMS】世の中の状況



※流通 BMS 協議会 2021年度流通BMS導入実態調査結果より

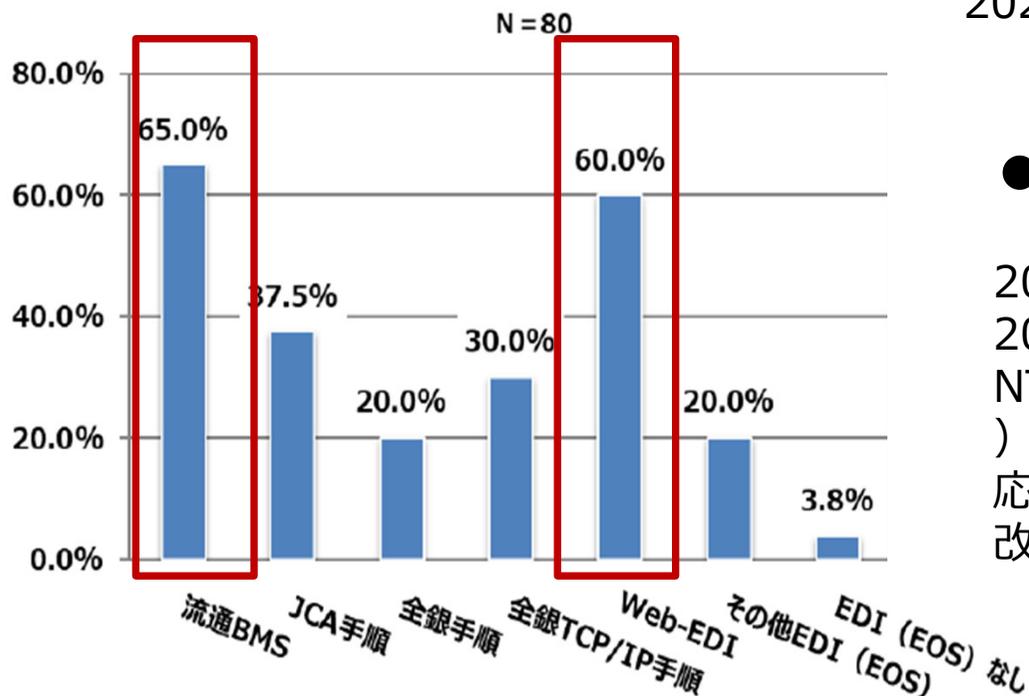
**2024年6月時点で 卸・メーカー 20,100社以上 導入済みと推測。**

※流通 BMS 協議会 「第26回 卸・メーカーの流通BMS導入企業数調査結果まとまる」より

**既に【流通BMS】は流通業界のスタンダードとなっている。**

# 8. 【流通BMS】世の中の状況

小売  
取引先とのEDI (EOS) に対応している通信手順



## 流通BMS割合

## Web-EDI割合

2017年度調査	48.3%	69.7%
2019年度調査	49.0% ↑	64.0% ↓
2021年度調査	65.0% ↑	60.0% ↓

※ 2019年度調査と2021年度調査のWeb-EDI割合の間に「逆転」とある。

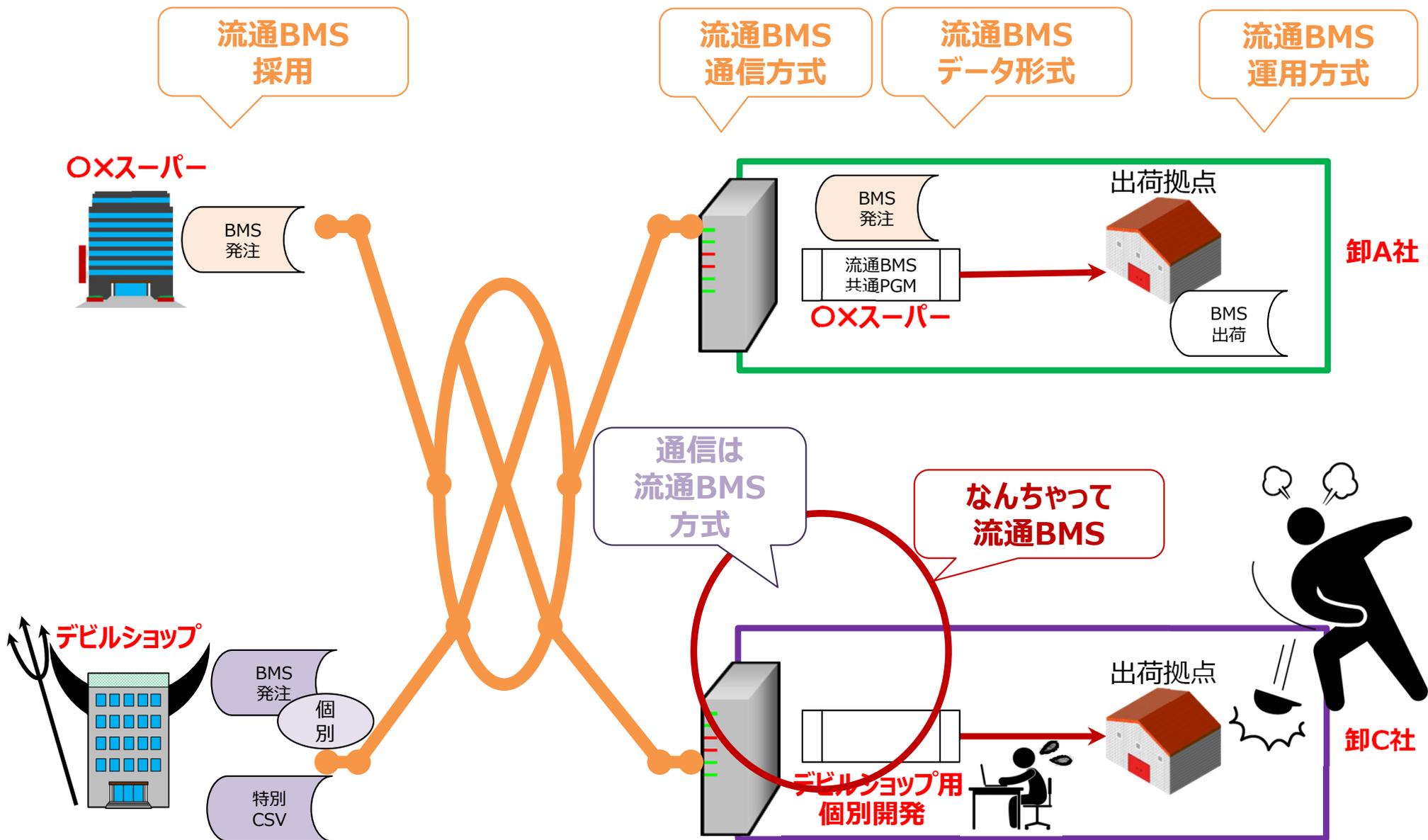
### ● 流通BMS導入が急増した要因

2019年「区分記載請求書等保存方式」や、2022年から2023年にかけて電子帳簿保存法やインボイス制度、NTT東日本/西日本の固定電話（加入電話・INS ネット）のIP網移行など、外的要因に対して各企業のシステム対応が必要になり、これらのタイミングに合わせてシステム導入や改修を行い、流通BMS導入に繋がったと考えられます。

やっぱり「流通BMS」がいいね！

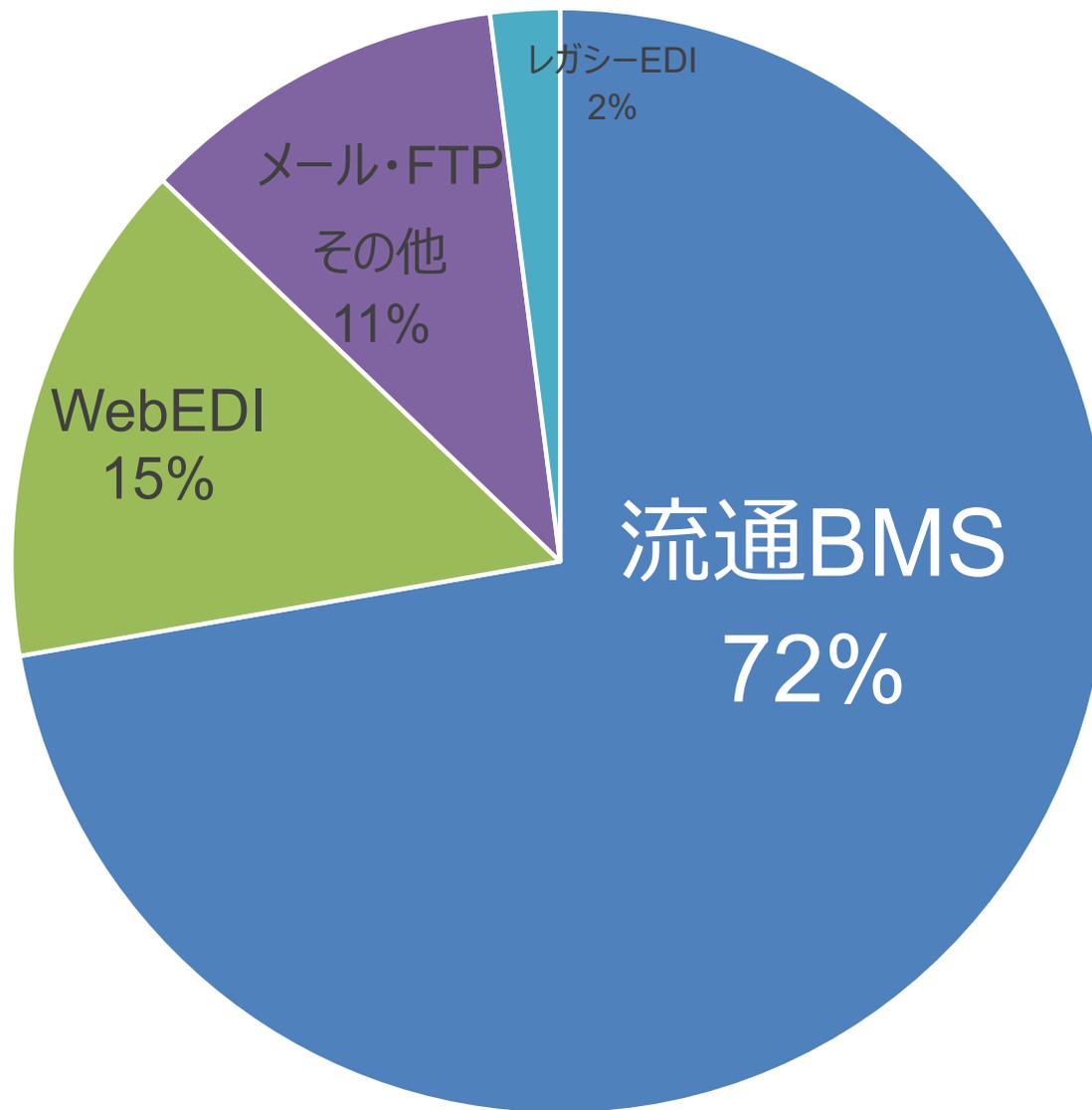
※流通 BMS 協議会 2021年度流通BMS導入実態調査結果より

# 9. 一方で...

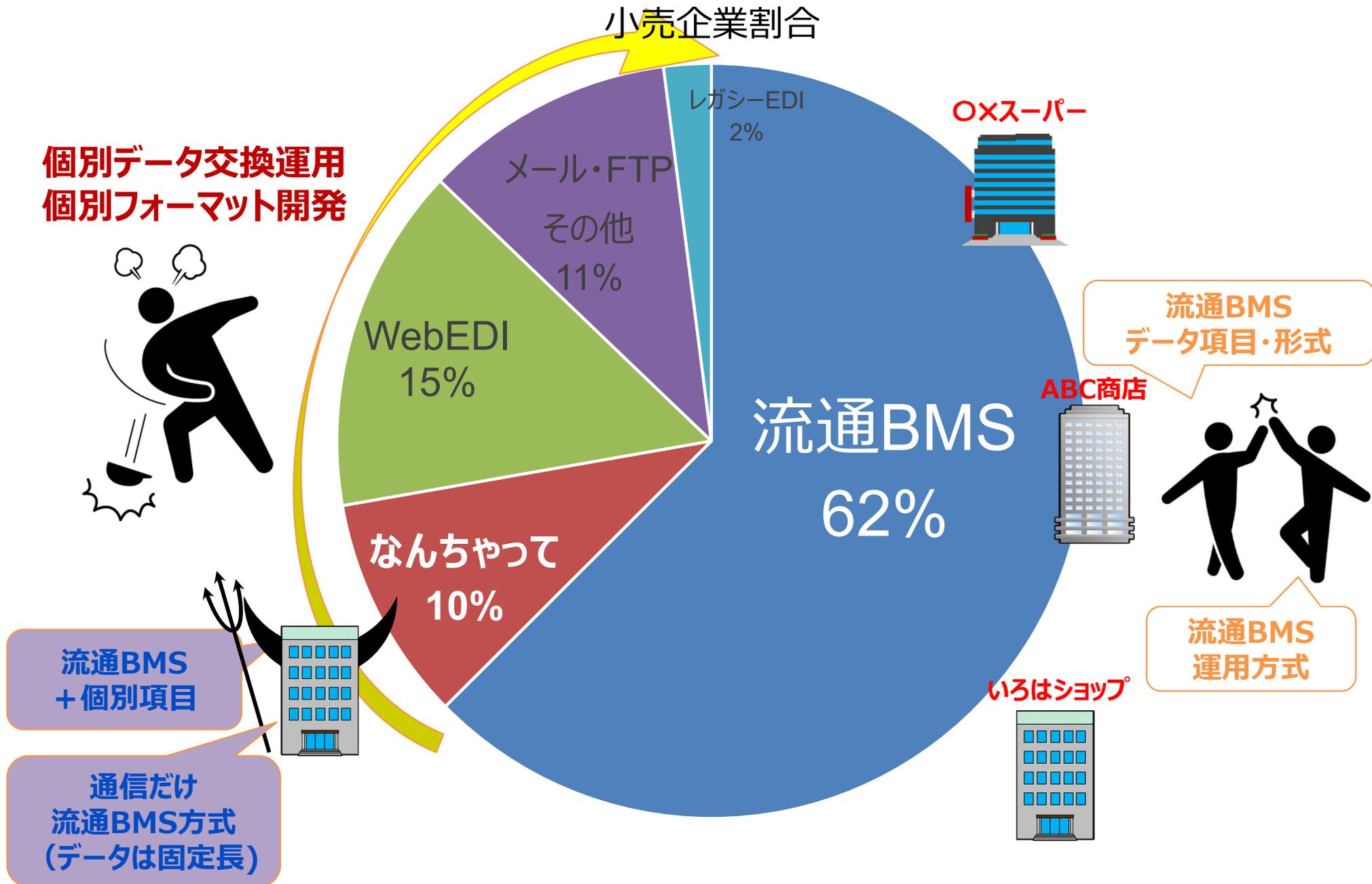


# 10. 弊社のEDI割合

小売企業割合



# 10. 弊社のEDI割合



# 11. 標準外が進むと・・・

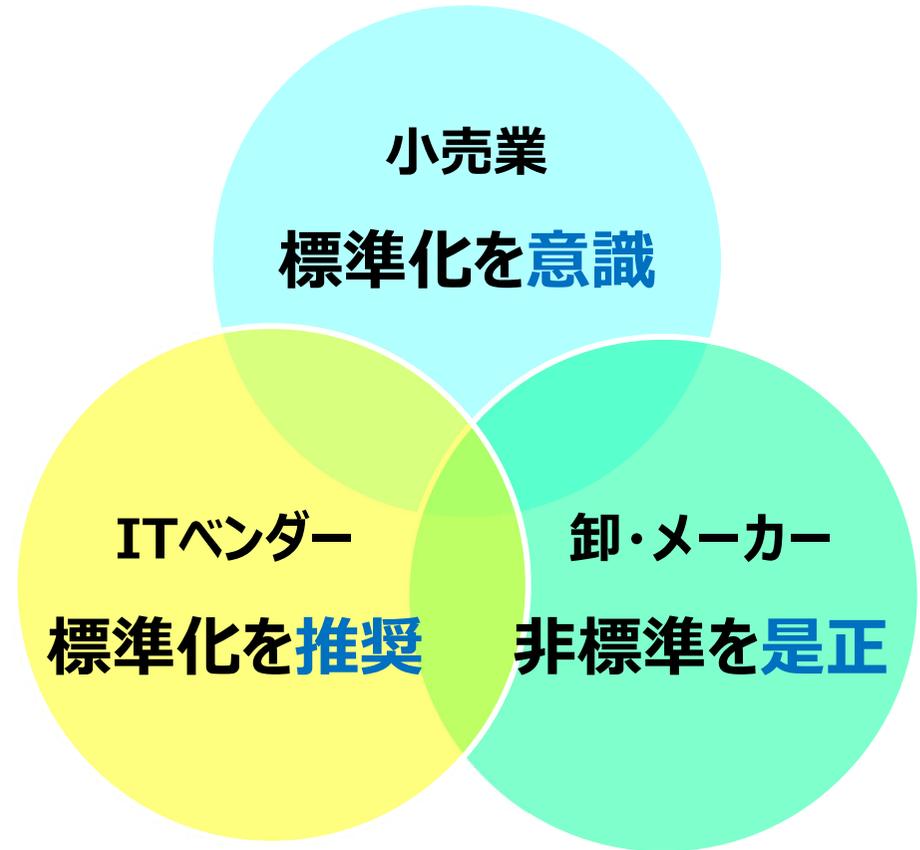
## ● 標準外利用のデメリット

- ・紙の対応が残る
- ・個別運用は人手が必要
- ・CRに対応出来ない
- ・再度開発が必要になる
- ・EDI取引の減少



**黒い歴史の再来**  
 卸業界的には個別開発・個別運用の扱い  
 (開発費・人件費・運用費大)

小売業、ITベンダー、卸・メーカー  
 3社間の連携が必要



特に、ITベンダーとパイロット卸・メーカー  
 の責任は大きい

## 12. 標準外利用をしないために

- 流通BMS導入には  
「標準に準拠したメッセージの作成」と「運用ガイドライン遵守」が大前提



どうやって標準に準拠しているか判断するの？

流通BMS協議会

**「マッピングシートチェック申請」を活用**

(標準準拠企業も掲載)

流通BMS協議会では2016年4月より、希望する小売業のマッピングシートが標準に沿っているかチェックを行う体制を整備し、運用を開始いたしました。

〈どんなチェックをしているのか〉

- ✓ 必須項目を利用していない
- ✓ コードリスト以外のコードを設定していないか
- ✓ 数字項目に文字をしていないか
- ✓ 桁数制限を超えた桁数を指定していないか
- ✓ 引継ぎ項目の利用方法違い
- ✓ 「出荷始まり」のマッピング内容に違反はないか
- ✓ 返品メッセージを「値引き」利用していないか

・・・etc

# 13. 流通BMS導入のメリット

2019年10月～

**軽減税率対応**

2023年10月～

**インボイス対応**

2024年1月～

**IP化対応**

【流通BMS】なら対応の方針も共有化  
 今後のイベントにも業界標準対応が可能



**「売り手」と「買い手」がWin-Win**

【流通BMS】の標準を維持することによって  
 売り手も買い手もメリットを維持し続ける！

